

議員研修会を実施しました

11月2日(木)、役場協議会室において「町村議会の課題と今後の展望について」議員のなり手不足と議員報酬について」をテーマに、大正大学社会共生学部教授の江藤俊昭氏に講演いただきました。

議会議員としての見識を深め、資質の向上を図ると共に円滑な議会運営を図るための具体的な研修となりました。



議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数

11月28日(火) 19名
11月29日(水) 10名
12月5日(火) 1名

次回の定例会は
3月5日(火)に開会予定です



町長 乗合タクシーも路線バスも運転手不足であり、さらに労働大臣告示の影響が大きい。ため改正ダイヤは、1日20便程度減少する。

問 電気バスフル充電後の走行距離と充電回数は。またバッテリーへの影響は。

答 100キロから120キロで、1日4〜5回程度充電。影響はない。

問 営業所が寄居町に移転すると実走行距離の50キロ

程度が毎日営業に使えないが。

答 道路運送法上、営業所以外には車はおけず、早めに来て充電する。

問 協定には「運休または廃止しようとする場合は、6カ月前までに報告するも

の」とあるが2年も続けて2週間もない申し出が許されるのか。

答 運転手の死亡・退職で非常事態だった。

問 公共交通の手段を考えなおく段階では。

答 まだ具体的に説明でき

公共交通の現状と今後は 山中博子

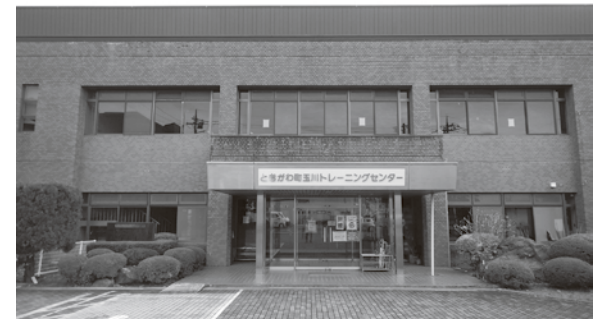


問 ライドシェアについてどのように考えるのか。

答 国における議論が始まった段階なので正式な回答はしづらい。

問 小中学校のカバンの重さと中学生の自転車通学について

答 カバンの重さの軽減は、小中学校とも置き勉を認め、学期末は計画的に持ち帰る指導をしている。



玉川トレーニングセンターについて 神山 俊



問 今後、玉川トレーニングセンターをどうしていくのか。

答 公共施設個別施設計画に記載されているとおり、集約化・廃止に向けて粛々と進めていく方針で、利用者の方々は説明や意見交

換の場を設ける中で、体育センター又は学校開放施設の利用について丁寧にご案内を進めていきたい。

問 公共施設個別施設計画の第1期の進捗状況は。

答 令和3年度から令和5年度までに解体を行った施

設が1施設、長寿命化を行っている施設が1施設であり、令和6年度に建替を1施設、解体を2施設予定している。

町長施政方針と公約につい

問 町長は2期目の折り返しにきている。課題解決に向けて2年間の主だった取り組み(成果)を挙げて貰いたい。

答 「食と教育で選ばれるまち」では、「学校給食充実事業」での地場産野菜を食材に積極的に取り入れることや、食材費への町費上乗せを実施してきた。

教育では、学習支援員・生活支援員を配置し、きめ細かい学習や生活環境を提供してきた。

国民健康保険料(税)の引き下げを 野原和夫



町長 被保険者の負担となる急激な保険料の高騰は抑えたい。基金を有効に活用する。

問 特例として所得割・均等割が軽減されている。更なる延長、引き下げを願う中で、子育て支援対策、出生率の向上を見据えた未就学児への均等割の減免、所得割の減免について伺う。

答 特例の延長、新たな減

免は現在考えていない。被保険者の負担となる急激な高騰は抑えたい。令和6年度は現行の税率を維持する中で、基金を有効に活用する。

介護保険料の引き下げを

問 高い保険料の引き下げを求める声が多く届いている。基金活用などで引き下げが可能ではないか。

答 要介護認定者も増え、介護給付費も増加している。準備基金から繰り入れを行い、保険料の上昇をできる

限り抑えたいと考えている。

加齢性難聴者への補聴器購入補助を

問 高齢者の2割から3割が難聴になっていると言われている。外出を控えるとなると会話が無く安心して生活ができる地域ではなくなることも考えられる。補聴器購入補助を願う。

答 実施済みの自治体の助成内容の把握に努め、国・県近隣市町村の動向を注視し検討する。

